

第2回飯南町保育所あり方検討委員会

— 令和7年12月22日(月)開催 —

飯南町の今後の保育環境を検討する「飯南町保育所あり方検討委員会」の第2回目を開催しました。検討委員会での協議内容に関し、保護者や地域住民、保育所職員など関係の皆様にお知らせさせていただきます。過去の委員会を含め、詳しい内容は町ホームページでも公開していますので、御覧ください。



町ホームページ

○ 経緯と目的

令和7年6月に町立保育所を受託運営する飯南町社会福祉協議会から、保育士確保が困難になったこと、児童数の減少、保育施設の老朽化等の理由から保育所設置数の見直しを含めた協議の場の設置を求める要望書が提出されました。本町では計15名の委員で構成する「保育所あり方検討委員会」を設置し、飯南町にふさわしい保育環境について町へ提言いただくための協議を開始しています。

◎ 保育所の状況について説明

第1回目の委員会で、「保育所の現状について、直接話を聞きたい」という委員からの意見を受け、各保育所の職員から現状について説明がありました。

○ 保育所職員体制について

- ・保育所職員は、子ども一人ひとりを尊重し、その子にあったきめ細かな関わりをすることで、成長や発達に繋がっています。クラス担任に加え、成長を支える人材が必要ですが、人材不足では保育の質、安心安全な環境を提供することが難しい状況になる懸念があります。子ども達の育ちを最優先し、丁寧な検討が出来たらと思います。
- ・職員の体調不良等による急なお休みや産休育休を含め、代替の職員の確保が出来なくなっています。
- ・職員数が不足しており、所長や主任保育士が日々の保育に入らざるを得ない状態のため、若手保育士の育成や管理業務に手が回らない状態です。

○ 保育所施設について

- ・建築から年数も経過しており、老朽化も進んでいます。保育室や遊戯室も狭く、職員が着替えをする更衣室も無い。改築したくても、スペースがなく、出来ない難しさがあります。
- ・目の前に川があり、大雨で水かさが増し、以前に避難した事も何度かあります。施設が旧耐震基準でもあるため、安心安全に過ごす保育所において、この点は考える必要があると考えています。
- ・男性職員もいますが、トイレが男女別になっていないこと、水泳指導する際等に使用する更衣室やシャワー室が無い事もよくないと常々感じています。

検討委員会で出た主な意見

- ・保育士は子どもが好きだし、一生懸命だが、その良心に頼っていたら後が無い。飯南町だけでなく、全県的に保育士が不足している状態。今は本当にぎりぎり、ここに子どもの状況に応じ、職員の追加の配置が必要になった場合は、パンクすると思う。
- ・人材不足に伴う保育への影響を抑止するために、まずは保育所の設置数について、議論すべきではないか。保育所の現状を考えると早急に令和8年度からでも何らかの対応が必要ではないか。
- ・設置数に関しては、保護者や児童の送迎や生活リズムへの影響も考慮が必要であり、地域の方へも丁寧な説明が必要。仮に一つの保育所を閉めるとなると、統合先との子どもとの交流会を計画的に行う必要もある。
- ・設置数に関しては、現状の4カ所から将来的に1箇所という選択肢もありうるのではないか。
- ・次回は設置数について議論するため、検討するための基礎資料について準備を求める。